

【公表】 事業所における自己評価総括表

事業所名	鎌倉市児童発達支援センター あおぞら園			
保護者評価実施期間	2026年2月16日	～	2026年3月13日	
保護者評価有効回答数	対象者数	29名	回答者数	20名
従業者評価実施期間	2026年2月16日	～	2026年3月13日	
従業者評価有効回答数	対象者数	13名	回答者数	13名
事業者向け自己評価表作成日	2026年1月10日			

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化、充実を図ることを期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	年齢や障がい特性などに応じた幅広い個別および集団活動のバリエーションを持っていること。	職員が特に障がい特性への理解を深めるように努め、個々の利用児により適切な活動内容を提供できるようにしています。	新たな活動、教材の開発や、利用児のアセスメントに基づくより適切な活動の提供に向けて、職員間でのミーティングをさらに充実できるようにします。
2	保護者支援、家族支援に力を入れていること。	家庭や地域での生活における状況を把握し、必要な支援を適宜行えるようにしています。	保護者向けに、必要な情報などを適切に提供できるようにします。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所が考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員体制が脆弱な点。	事業所だけの課題ではなく、一般的に人材不足が深刻な状況にあります。	法人とも協議しながら、引き続き人材の確保に努めていきます。
2	非常時の対応について、各種マニュアルの整備や訓練等も実施してはいますが、保護者等へその周知が十分でない点。	近年その整備がより強く求められている中で、事業所としてまだ周知に十分な意識が向いていなかった面があります。	非常時の対応について、今後マニュアルの存在や訓練等の実施について、より積極的に保護者等に周知するように努めていきます。
3			